学校番号	３０１９

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	課題研究 （ソーシャル・チェンジ）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、地域社会・経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。社会課題を自分ごととして捉え、周りの困っている人の課題を真剣に考え解決をしていく。例えば、西淀区内の地域防災や、高齢者のスマートフォン普及、ＳＤＧｓなどである。閉塞感のある世の中に新たな価値を生み出す創造性を身に付け、一人ではできないことを周りの人を巻き込んで実現していく。

2　学習の到達目標

・身の回りの困っている人を見つけ出し、それらの人を助け、笑顔にする企画を考え実行する。
・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
・自ら動き出せる主体性、世の中に新たな価値を生み出す創造性、周りの人を巻き込むコミュニケーション能力、協働する力を身につける。

【知識および技術】
社会課題を自分ごとにするための情報を集め、分析し、イベントやビジネスプランを企画し、企画書を作成する

【思考力、判断力、表現力等】
企画したビジネスプランについて、外部講師等からアドバイス等をもらい、推敲し、ブラッシュアップし、企画書を練り上げてプレゼンテーションを行う。

【学びに向かう力、人間性等】
自ら設定した課題に対して、外部のイベントや外部団体などと積極的に関わることで、課題をよりリアルなものにしていく。授業のコアとなるディスカッションでは積極的に発言し、自らグループの意見をまとめることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・「身近な課題」、「地域課題」に関する情報を収集し、その課題に対して科学的な解決策を見つけ、計画することができる。	地域課題に対して、商業に関する知識や専門的な知識の思考を深め、その知識をもとに課題解決に向けて適切に判断し、表現する能力を身につけている。	地域課題・社会問題に関する課題を自ら設定し、商業的・専門的な知識をもとに課題に対して主体的・意欲的に取り組み、自発的・創造的に学習する態度で取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会課題を研究する	1. ソーシャルビジネス 学習プログラム「社会課題の見つけ方、研究の仕方を学ぶ」 2. 興味関心の高い「身近な課題」を見つける。 3. 西淀川区の「地域課題」について知り、解決策を考える。 4. 年間の実施計画スケジュールを考える。 5. 夏休み実施予定の小学生向け校内イベントの内容を企画する。	a：社会課題について、課題の見つけ方、研究の仕方を身に付ける。 b:現実の社会課題について知識を増やし、自らの研究課題を見つける。 c:自分が見つけた課題に基づいて年間の研究計画を立てることができる。	レポート	中間発表	作品制作 授業観察
2学期	ソーシャル・チェンジの実践	1. 小学生向け校内イベントの開催 2. 西淀川区の社会課題イベントの参加と実施 3. アイデアプランコンテスト 4. 商業高校の魅力発信プロジェクトの企画・実践	a：１学期に見つけた社会課題に基づいてイベント企画を実現する。 ｂ．自らが見つけた社会課題について解決策となるアイデアを企画書に作りこむ。	レポート	中間発表	作品制作 授業観察
3学期	振り返りと空間作成	1. 年間の振り返り 2. 新たな課題とアイディアの考察	a：これまでに研究してきた社会課題について企画書をまとめ、発表する。 ｂ．研究を終えて、今後につながる課題を提案する。	レポート	発表	作品制作 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度